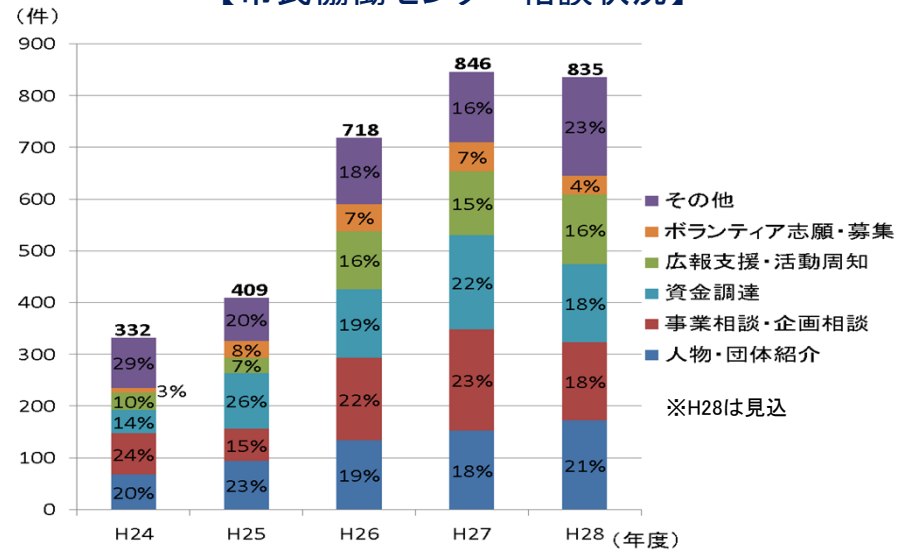


## 『市民活動がしやすい環境づくり』これまでの実績

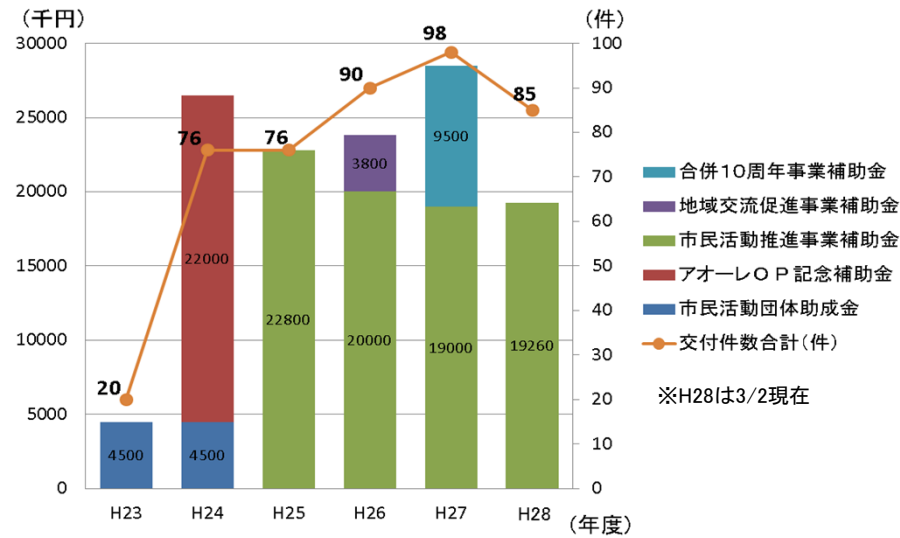
## ◆市民活動に関する各種参考データ

【市民協働センター相談状況】



■「広報支援・活動周知」の割合が、H24と比較してH28は1.5倍に増えている

【市民活動関係補助金交付実績】



■平成28年度市民活動推進事業補助金の新規申請は48/85件であり、全体の約56%

【市民協働課が把握している市民団体の数】

平成29年2月24日現在

| 事業名            |                 | 団体数   |
|----------------|-----------------|-------|
| 市              | 市民活動補助金(交付)     | 299   |
|                | NPO法人(認証)       | 74    |
| 協働センター         | 市民活動フェスタ(参加)    | 279   |
|                | らこって(掲載)        | 238   |
|                | つながるラジオ(出演)     | 157   |
|                | センター登録団体(登録)    | 168   |
|                | 公式サイト「コライト」(登録) | 154   |
| 延団体数           |                 | 1,369 |
| ※事業間の重複を除いた団体数 |                 | 697   |

■市民協働センター開設後、各種事業を実施する中で、幅広い分野に渡る約700もの市民団体を把握している。

## ◆市民活動の具体的事例

【まちの魅力や活力を創出する活動】

趣味の演芸を生かした慰問活動[股旅あい好会]



歌・踊り・お芝居が大好きな人たちが集まり、「人のため、何かして、その人の喜ぶ姿を見て、最後に自分が喜ばばいい」の精神で、年間30回以上の公演を福祉施設等で開催。

【社会課題などに対応する活動】

ひきこもりの支援[くるみの会]



ひきこもりの子どもを持つ親・家族に対するケア活動や、ひきこもり支援の理解を広めるための講演会などを実施。親・家族を支援するという発想は、市民目線ならではの。

【高い組織力と実績を有する社会貢献活動】

未来を見据えた「フェニックスプロジェクト」[NPO法人ネットワーク・フェニックス]



復興を果たした市民の思いを一つにして、全国や10年・20年先の長岡に向けて発信することで、子どもたちが誇りを持てる未来を創っていく「フェニックスプロジェクト」を先導。

若者による地域の魅力発信イベント[CONTO CANDLE LABO]



与板地域の20代・30代の若者が中心となって、お寺を会場に、与板の歴史や文化を現代風にアレンジして取り入れたイベントを開催し、与板の魅力を発信。

災害時の迅速な安否確認に向けた実証実験[青葉台自主防災会]



きっかけは、中越地震での避難者名簿作成時の苦労。ICTの活用で避難者名簿の作成を効率的に行う実証実験を、自主防災訓練で実施。その成果発表も行った。

障がい者の自立を支援しながら地域活性化を目指す[NPO法人UNE]



障がい者の仕事起こしや高齢者の生きがいづくりに取り組む中で、農家レストランの運営や自家栽培の米を使った「どぶろく」生産などを通じた地域活性化を目指す。

## これまでの方向性：市民活動がしやすい環境づくり

市民の自由な発想と自発的な活動を大切に、市民が生き生きと活動できる環境整備を推進

- ・活動に関する相談機能の整備(市民協働センター)
- ・活動資金の支援(市民活動推進事業補助金)
- ・活動の場の提供(アオーレ長岡)

## これからの方向性：+「新たな価値や活力を生み出す市民力の創出」

活動ごとの性質やレベルなどを意識した複眼的視野を取り入れた支援・施策を講じることにより、新しい価値の創出を目指した市民協働の推進を図る。

○高い組織力と実績を有する活動

高い専門性やノウハウを有する団体の新たな取組みや、団体同士が連携・交流することによる新たな価値の創出を支援する。